

## 播磨中央公園の蒸気機関車 静岡県の大井川鐵道へ



長年、播磨中央公園で展示されていた蒸気機関車「C56形135号機」が、静岡県にある大井川鐵道株式会社に譲渡されることとなり、2月10日、搬出作業が行われました。

C56形135号機は、昭和13年から九州等で活躍し、昭和49年に鹿児島県で引退を迎えた後、昭和50年に旧日本国有鉄道から旧滝野町が無償貸与を受けていました。以来、半世紀近くにわたって播磨中央公園のシンボルとして親しまれてきました。

しかし、長年屋外に展示されていたことで車体の劣化が目立つようになり、市は令和2年度に解体撤去の方針を打ち出していました。そんな中、その情報を知った大井川鐵道株式会社から譲受希望の申し入れがあり、協議の結果、譲渡が決定しました。

この日行われた搬出作業では、車体がボイラー、炭水車、車輪に分割され、大型クレーン車2台を使用して慎重にトレーラーに積み込まれました。そして、C56形135号機を乗せたトレーラーは、市民のみなさんに見送られながら、静岡県に向けて出発しました。

大井川鐵道株式会社の山本広報室次長は、「昭和の鉄道文化を未来に繋いでいきたい。車体を検査し、走行が可能なら、復活できるよう準備を整えたい。」と話されました。また、搬出作業を見守っていた方は「子どものころからずっと見ていたので、公園からなくなってしまうのは寂しいが、錆びきって解体されるより、復活してくれた方が嬉しい。」と話されました。



## ありがとうございます



加東市連合婦人会から、歩行車(補助具)1台をケアホームかとうに寄贈いただきました。



兵庫教育大学大学院の修了生のみなさんから、絵本・紙芝居35冊を寄贈いただきました。いただいた絵本・紙芝居は、市内認定こども園等で活用させていただきます。

## 社高校生が市長に市の活性化策を提案 「市長と語ろうタウンミーティング」を開催しました



2月4日、市の活性化について県立社高等学校1年生と市長が語り合う「市長と語ろうタウンミーティング」をオンラインで開催しました。

社高校1年生のみなさんが「10年後・20年後も住みたいまちにするために」というテーマで考えたさまざまなアイデアを安田市長にプレゼン。提案を聞いた安田市長は、「若い視点からの指摘で参考になる。今回提案されたことについては、関係部署と協議していきたい。」とコメントしました。

## 兵教大附属中2年生 立志式で大人への決意新たに



2月21日、兵庫教育大学附属中学校で立志式が行われました。式では、明野生徒会長と2年生各クラス代表6人の生徒が、これからの人生を力強く切り拓いていく決意を述べました。

式にあわせて開かれた記念講演会では、同校卒業生で元生徒会長の竹内さんが「これからも附属中の仲間を大切に、夢に向かって頑張ってください。」と生徒にエールを送りました。

## 100歳おめでとうございます

◎平岡さいさん(上滝野)  
大正11年2月11日生まれ



◎別府すゑ子さん(上滝野)  
大正11年3月8日生まれ



◎土肥初野さん(新定)  
大正11年3月22日生まれ

令和4年3月22日時点  
市内100歳以上の方 30人  
(内訳 男性1人 女性29人)

☎健康福祉部  
高齢介護課(庁舎1階)  
担当:宇井加奈 ☎43-0440